



### 1. 受援対策

井草拠点等の防災拠点からの支援車両、給水車、電源車等の車両は1度、日大二高通りへ出る

緊急車両が日大二高通りから直進してアクセス可能にするため、門を作ることが重要（正門にしない場合平常時は開かずの門）

### 2. 調理室の防災機能強化

備蓄食のアルファ米、緊急支援の菓子パン、おにぎり（後日お弁当）

生鮮（特に野菜）不足、栄養バランス問題  
体調悪化、アレルギー等食事の要配慮者

自校調理の調理室を被災後も調理可能にしておく

LPガス（バルク槽、GHP（ガスヒートポンプ）の導入（学校、消防署や行政庁舎等で実施）

\*「令和5年度補正予算・令和6年度 災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金（災害バルク等の導入に係るもの）」

都市ガス⇒LPガスへの切り替え（変換器、併設と手続き（複雑））

### 3. 避難施設の防災機能強化

電力の確保

避難所生活のために必要な電力

機器	消費電力（目安）	使用時間	1日あたりの消費電力量
照明（LED10灯）	100W	6時間	0.6kWh
冷暖房（エアコン2台）	1.5kW×2	6時間	18kWh
電子レンジ	1.2kW	1時間	1.2kWh
炊飯器（5合炊き）	1kW	1時間	1kWh
携帯充電（100台）	5W×100	2時間	1kWh
合計			約22kWh/日

太陽光パネル：7～8kWの出力（1kWあたり1日約3.5kWhの発電を想定）

蓄電池：最低でも15kWh以上（天候不順や夜間使用を考慮）

東京都 「再エネ設備導入加速化補助金」

\*PPA（第三者所有）モデルを活用すれば、初期費用ゼロで導入可能なケースも  
環境省「地域脱炭素促進事業」PPAモデルを含む第三者所有型の導入にも対応  
経済産業省の「ZEB補助金」学校の省エネ化と再エネ導入を一体的に支援

## 生活用水の確保

体育館を総合施設にして雨水・プールの水を活用 平常時は地域に開かれた施設に  
中水利用システムを導入 \*中水：上水（飲料水）と下水の間に位置する再利用水



文部科学省の「エコスクール」や「スーパーエコスクール\*」事業の一環として導入  
環境教育・防災・省エネの三位一体で整備

\*ゼロエネルギー化（ZEB）を目指す先進的なモデル校